

笠間市社会福祉協議会

北川根支部だより

第128号



発行日 平成28年 1月 1日
 発行 笠間市社協北川根支部
 編集 北川根支部広報委員会
 印刷 ㈱クリエイティブサンエイ

初春を迎えて



支部長
鈴木 裕

新年明けましておめでとうございます。会員及びご家族の皆様におかれましては、お揃いで良き年をお迎えになられたことと、心よりお慶び申し上げます。

支部委員(区長さん)・福祉推進委員・民生委員児童委員の方々をはじめ会員皆様のあたたかいご協力により平成二十七年の支部事業も計画通り円滑に運営できておりますことを役員一同衷心より感謝しております。

地域の福祉や特性をいかしながら地域力を高める取り組みの事業として本年度は下半期、昨年度に引き続き「北川根ウォーク(二年目)」・「法人会員さんへの配食弁当お届け(三年目)」を実施しました。



地域を知るといふ面で涸沼川のサケの遡上見学や教住寺住職のご法話をいただいた北川根ウォークは意義あるものでした。また、法人会員さんへ配食弁当のお届け、月一度の高齢者の皆様への配

食においては、地域を支えておりますボランティア心のある女性部の会員さんのやさしさあふれる奉仕活動に敬意を表すると共に更に会員の仲間が増えていくことを願っております。

高齢者の増加と共に家族のあり方にも変化をきたしている現代、下流老人という言葉が耳にしたり、昨年も数々のいたましい事件(経済的に困窮していて電気を止められ、ローソクの生活が原因で火災発生三人焼死、親の認知症の介護に疲れ車ごと川に・・・)が報道されていきました。昔、「向こう三軒、両隣り」と言われたように周りに対する気遣いがあれば悲惨な事件の減少につながるのではと思う昨今です。本年度も地域福祉の向上に役員一同努力してまいります。皆様方にとって最良の年でありますようお願い申し上げます。まして新年のあいさついたします。



女性部長
上野 昌子

謹んで新年のお祝いを申し上げます。日ごろは女性部活動に多大なるご協力を頂きまして心からお礼申し上げます。

女性部も発足以来二十年を迎え六十

北川根支部研修(バス)

日時：平成28年1月26日(火)

場所

埼玉古墳群と忍城跡
を歩く(埼玉県行田市)

集合：午前8時30分

場所：笠間市友部社会福祉会館

参加費：1,500円(昼食・入館料含む)

※各支部委員(区長)等を通じて参加者募集



今年もご指導をどうぞよろしくお願い申し上げます。

名の部員の皆様と一緒に活動を進めて居るところです。茶話会、配食が活動の中心ですが、昨年は九月に北川根小学校の児童の皆さんに元気な絵を描いてもらい、お弁当の掛紙にして敬老の意をお伝えしました。他の月は長兎路にお住いの上野恭子様に美しい俳画の掛紙をお願いし、共に大変喜んで頂いて居ります。世の中は目まぐるしく変わりつつありますが皆が一緒に幸せになると言う福祉の精神は変わることにはないでしょう。互助の心も忘れる事なく、私達女性部は寄り添う福祉を目指します。

わが地域 ⑤

長兎路地区

水戸時宗神応寺の書状を取り上げ、物語に入ります。事柄上、隣村の名を出しますがお許し願います。

今から400年程前の文禄元年常陸国を武力統一して54万石の領地を支配した佐竹義宣が、文禄4年に発行した知行割付状です。長兎路柏井両村200石が、水戸時宗神応寺の寺領であることを示す証文(土地所有権利書)です。神応寺は、天正19年創建といわれる当時本山藤沢遊行寺が火災によってすべてが失われ、水戸に本山創建の依頼があり、佐竹義宣が時宗総本山神応寺を完成させました。神応寺には250石の寺領が与えられ、そのうち200石が長

兎路柏井両村であつたのです。

年号も変わって慶長の初め、形の残る長兎路城内三島神社に隣接して時宗本山神応寺の末寺として玄中寺を建立、役所を兼ねた重要な寺となりました。慶長7年幕府命により佐竹氏は秋田に転出となります。変わって穴戸藩秋田氏領となりました。しかし神応寺は、神君家康公より拝領した寺領長兎路柏井村である旨を主張し黙認されたと言われます。佐竹氏を失い次いで慶長12年藤沢本山が完成し水戸にいた遊行上人が藤沢に帰り、水戸の本山の地位も失われ寺領を死守したとしても正保2年穴戸藩秋田氏が三春藩に転出するまででした。長兎路玄中寺は、住吉山教住寺末寺となって明治まで存続しました。

その後長兎路は旗本安藤与十郎氏の知行地となりました。貞享2年領主安藤氏の寄進と村民の協力によって川根を一望できる絶景の地下

長兎路堂上に祈願寺薬王院(本尊薬師如来)が建立されました。本

尊薬師如来)が建立されました。本

尊薬師如来)が建立されました。本

佐竹義宣が発行した知行割付状(文禄4年)

に強まって今日に至りました。(上野 清彦)

合同茶話会

予科練平和記念館へ



Aグループ: 10月1日(木)

随分附本郷、随分附新田、柏井、旭丘、柏井団地、旭ヶ丘団地

予科練平和記念館へ行って、予科練三班に分け、阿見町のかき、昨三十月から十一月にかけて、参りまし。戦後七十年、国中での戦争を振り返り、平和への祈りを捧げた年でありました。記念館では、四歳から十七歳の少年達が、厳しい訓練を受け、やがては遺品を残して大空へと飛び立つて行った様子を見聞し、胸にこみ上げるものがあり、今更ながら戦争は生きとし生けるものに不幸をかもし生けるものと思ひ知りました。車中では体験談などもお聞きすることも出来、ドキドキファームでもお買物を楽しみ、いつまでもこの平和が続くことを祈りながら帰って参りました。(上野)



Cグループ: 11月5日(木)

仁古田東部・西部、石沢、湯崎、田向岱長兎路、下長兎路、長兎路三区、東原



Bグループ: 10月29日(木)

住吉新宿、住吉本宿、旭団地、西協、長野、グリーンウッド、睦団地、西原、西原住宅、住吉団地、みどりの団地

編集後記

甚大な被害をもたらし、東日本大震災から間もなく5年。今年が、平和な良い年でありますように。(藤森)